



アクモス株式会社

JASDAQ

証券コード：6888

コーポレート・ガイド

# Corporate Guide

2006年6月期

2005年7月1日～2006年6月30日

## 経営方針

アクモスは、「融合・連携・共鳴」を経営理念とし、ハイレベルなノウハウを共有した専門サービス企業集団として新たな可能性に弛まぬ挑戦を続け、個々の企業の独自性や豊かな発想、多様性のある企業グループとして連邦経営による企業価値の最大化を目指します。

## 連邦経営のミッション

私たちアクモスグループは、「独自の知恵と専門性を活かしたサービス、オンリーワンのサービス」を提供することを使命といたします。

私たちアクモスグループの役員及び従業員は、「お客様の満足」、「お客様からの信頼」こそが、アクモスグループの事業の発展と収益の源泉だと常に意識して行動いたします。

## IR活動に関する基本的な考え方

アクモスは、IR活動を通じて、投資者、株主、アナリスト等の情報の利用者に対して、投資判断に必要な情報を適時開示（タイムリー・ディスクロージャー）し、すべての情報の利用者に公平かつ継続的に情報を提供することによりインサイダー取引等の発生を防止し、当社と情報の利用者との相互理解を深めるとともに証券市場において正当な評価を得られるよう努めます。

## CONTENTS

- 01 株主のみなさまへ
- 02 特集 中期事業計画（2007年～2009年）
- 05 グループ業績ハイライト
- 06 グループ事業の概況
- 07 グループ企業
- 08 連結財務諸表
- 10 アンケート結果報告
- 12 ニュースフラッシュ
- 13 会社概要&株主メモ

## 株主のみなさまへ

株主のみなさまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日ごろから格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当期の業績は、連結売上高が3,438百万円（前期比66.5%増）、経常利益は160百万円（前期比98.0%増）となり、ともに過去最高の水準となりました。主な理由は、当期中に株式交換により子会社となった茨城ソフトウェア開発株式会社及び前期に子会社化した株式会社エクスカルの業績貢献等、連結対象会社の増加によるものです。

また、既存子会社の中でもアクシスコンサルティング株式会社は、外国人技術者の紹介予定派遣事業を立ち上げる等、前期から引き続き事業領域を広げております。

グループの収益力の強化は、まだまだ継続して対処していかなければならない課題ですが、第13期（2004年（平成16年）6月期）から当期まで、連続3年間増収増益を達成することができたことは、当社のM&Aによる成長戦略の着実な成果であると考えております。

当期は、お蔭様で“新たな飛躍元年”となりました。株主のみなさまには、引き続き変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年9月



アクモス株式会社  
代表取締役

飯島 秀幸



## 人材・ITソリューショングループの 創設に挑む3年間の始まり

アクモスグループは、更なる成長を目指して第16期から始まる3年間を実行期間として中期事業計画に取り組みます。

## 中期経営方針 3年後のアクモスグループ

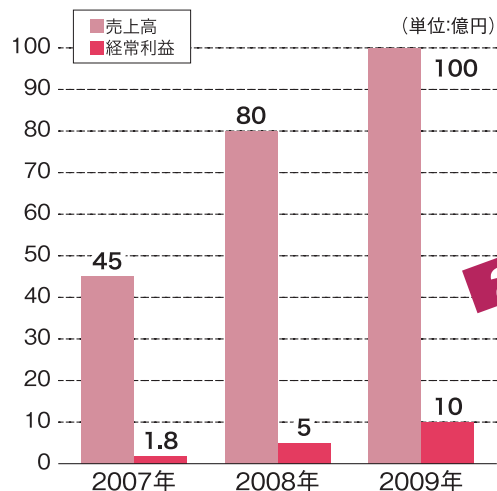
### 人材・ITソリューショングループ創設

1. 人材派遣・紹介・請負・教育等の総合サービスを顧客に提供
2. 人材こそ財産であり、グループの資本と位置づけハイレベルな人材育成と活躍の場を提供

### 東証1部上場基準の達成

1. 連結売上高 100億円  
連結経常利益10億円の達成
2. アクモス単独決算  
株主のみならずへの配当の実現  
配当可能剰余金が出せる経営体制の構築

## 中期事業計画 (数値目標)



2009年を目指して

GOAL

(単位:億円)

売上高の事業別内訳	2007年6月期	2008年6月期	2009年6月期
人材ソリューション	20	50	60
ITソリューション	25	30	40

### ●第16期(2007年6月期)は、中期事業計画元年

第16期は、中期事業計画の初年度として、アクモスグループの今後の方向性が決まる重要な年になります。今後3年間でアクモスグループは、人材とITを中核ソリューションとする「人材・ITソリューショングループ」の創設を目指します。

### Q 2009年6月期に目標を定めた理由は?

当社グループは、これまで2008年6月期の目標として「連結売上高100億円、連結経常利益10億円、連結子会社数10社」を掲げてまいりましたが、「人材・ITソリューショングループの創設」という新たな目標に向けて、グループの事業基盤を強化しつつ数値目標を達成するため、2009年6月期を達成期とすることにしました。

※「中期事業計画(2007年～2009年)」は、「ステップアップ☆2008プラン」を発展させた内容となっております。

### ●M&A戦略の推進とグループ事業の強化

中期事業計画においては、特に人材ソリューションビジネスの強化が重要となります。M&Aによる有望子会社の発掘とグループ事業の支援を行い、人材派遣、人材紹介、教育、業務請負等の人材総合サービスの提供を可能とする事業基盤を整備いたします。

## 中期事業計画 重点目標

### M&Aによる有望子会社の発掘と支援

1. 新規のM&Aにより数社の人材・IT事業会社を子会社化し、新規子会社群で売上高50億円、経常利益5億円を達成する。(2009年6月期まで)
2. 優れた経営人材の発掘と支援 (2009年6月期まで)

### コーポレートガバナンスの確立

1. グループルール の確立と浸透 (2009年6月期まで)
2. 事業計画策定ルール の確立 (2008年6月期まで)

### 新規事業開拓

1. 人材派遣事業へ本格参入
2. 外国人の活用とアジア企業とのアライアンス

### 子会社成長支援と子会社間の協力体制

1. 顧客の共有化 (2008年6月期まで)
2. 協業体制の構築 (2008年6月期まで)

### アクモスモデルの再構築

1. 子会社上場による剰余金獲得 (2009年6月期まで)
2. 有力子会社合併モデル (2009年6月期まで)

※ ( ) 内は達成目標期

## グループ業績ハイライト

### ●連結経営成績

(単位:百万円単位未満切捨 1株当たり情報を除く)

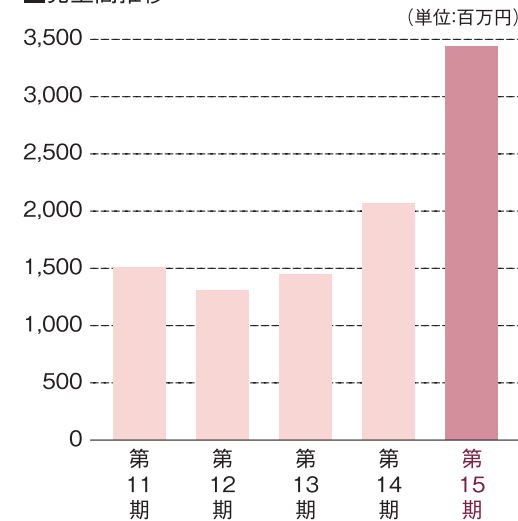
	第11期 (’02/7)	第12期 (’03/6)	第13期 (’04/6)	第14期 (’05/6)	第15期 (’06/6)
売上高	1,511	1,306	1,446	2,064	3,438
経常利益(△損失)	△87	△193	53	80	160
当期純利益(△損失)	11	△240	6	36	91
1株当たり当期純利益(△損失)(円)	900.58	△18,729.92	526.48	493.47	853.52

### ●当期連結決算のポイント

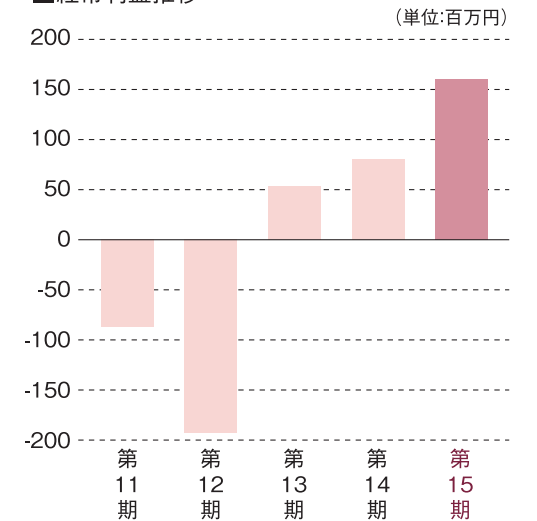
売上高で30億円台を達成し、売上高、経常利益で連結開始以来の最高業績となりました。

1. 売上高、経常利益、当期純利益3期連続対前期比増加
2. 新規のM&Aの効果により、売上高は3,438百万円と前期に比べ1,374百万円の増収(前期比66.5%増)
3. 経常利益は160百万円(前期比98.0%増)、当期純利益は91百万円(前期比149.2%増)

### ■売上高推移



### ■経常利益推移

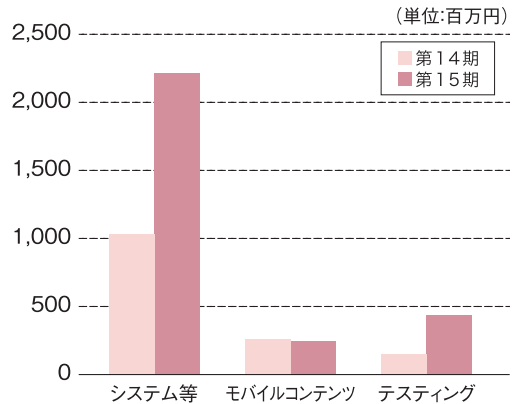


## グループ事業の概況

### ●情報技術事業

第15期売上高 2,904百万円(前期比100.4%増)

新たに連結対象の事業となったシステム開発事業を中心に顧客企業の業績回復に支えられ売上高、利益を伸ばした事業分野が貢献し、当期の情報技術事業全体の売上高は2,904百万円(前期比100.4%増)、営業利益は115百万円(前期は営業損失43百万円)となりました。

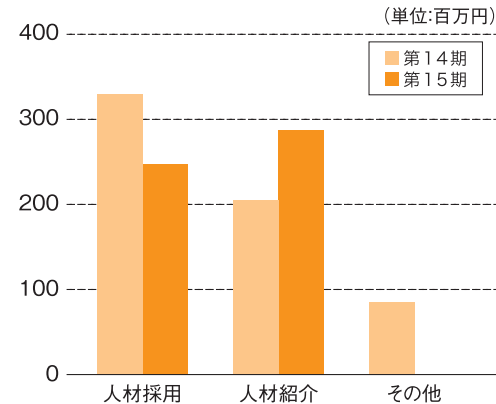


(注)テスト事業の第14期の売上高は、連結の対象となった5ヶ月分です。

### ●人材事業

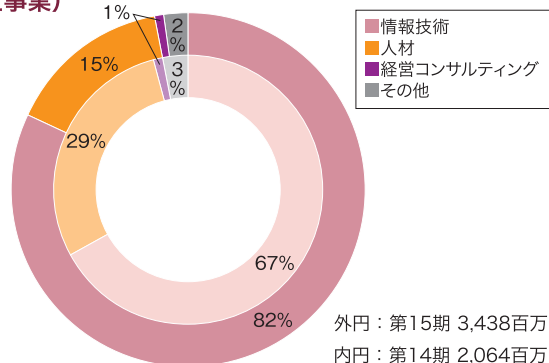
第15期売上高 535百万円(前期比13.9%減)

人材事業全体の売上高は535百万円(前期比13.9%減)、営業利益90百万円(前期比3.0%減)となりました。売上高の減少の主な理由は、株式会社インタービジョンコンソーシアムの売却による連結対象からの除外と顧客企業の採用計画の見直しから受注減となった人材採用事業の売上減少によるものです。



(注)第15期の売上高でその他に該当するものではありません。

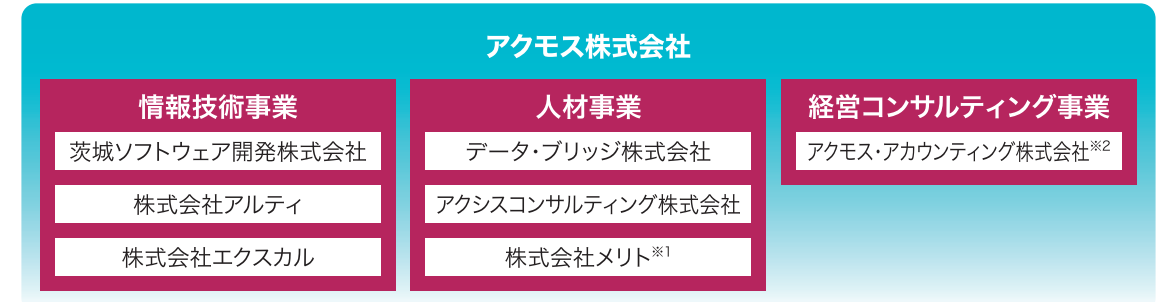
### ●事業別売上高構成比(全事業)



外円：第15期 3,438百万円  
内円：第14期 2,064百万円

## グループ企業

### ●アコムグループ概況(平成18年8月31日現在)



(注)

- 株式会社メリト…100%出資の子会社2社を保有しております。
- アコム・アカウンティング株式会社…100%出資の子会社1社を保有しております。

### ●主なグループ事業のご紹介

#### 法人のお客さま向事業

人事関連	IT製品開発・システム開発	広告宣伝その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>●人材紹介</li> <li>●採用業務アウトソーシング</li> <li>●人材派遣業務・紹介予定派遣業務</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ITシステムコンサルティング</li> <li>●システム開発・ネットワーク構築保守・セキュリティ構築診断・ソフトウェア・各種機器等</li> <li>●IT製品の規格認証・第三者検証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ポスティング・販売促進支援</li> <li>●経営コンサルティング</li> </ul>

#### 個人のお客さま向事業

ゲームエンターテインメント	転職・就職等	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>●PCゲーム</li> <li>●携帯ゲーム</li> <li>●着信メロディ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●転職・キャリアアップ支援</li> <li>●派遣・紹介予定派遣のお仕事登録</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●パソコン教室</li> <li>●“わかるとできる”(茨城県下)</li> </ul>

●連結損益計算書

(単位:千円)

科目	第14期	第15期
	自 2004年7月 1日 至 2005年6月30日	自 2005年7月 1日 至 2006年6月30日
売上高	2,064,472	3,438,132
売上原価	1,338,998	2,116,752
売上総利益	725,474	1,321,379
販売費及び一般管理費	683,430	1,143,874
営業利益	42,043	177,504
営業外収益	79,898	18,661
営業外費用	40,965	35,868
経常利益	80,977	160,297
特別利益	10,786	97,915
特別損失	21,500	20,810
税金等調整前当期純利益	70,263	237,402
法人税、住民税及び事業税	39,767	137,803
法人税等調整額	△2,404	△8,026
少数株主利益 又は少数株主損失(△)	△3,984	15,714
当期純利益	36,885	91,911

●要約連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科目	第14期	第15期
	自 2004年7月 1日 至 2005年6月30日	自 2005年7月 1日 至 2006年6月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	38,231	△59,146
投資活動による キャッシュ・フロー	235,539	65,876
財務活動による キャッシュ・フロー	411,532	109,648
現金及び現金同等物の 増加額	685,303	116,378
現金及び現金同等物の 期首残高	353,054	1,038,357
現金及び現金同等物の 期末残高	1,038,357	1,154,735

●要約連結株主資本等変動計算書

(単位:千円)

科目	第15期
	2006年6月30日現在
株主資本	
資本金	693,250
資本剰余金	1,252,050
利益剰余金	131,307
自己株式	△1,038
株主資本合計	2,075,569
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	1,520
評価・換算差額等合計	1,520
新株予約権	600
少数株主持分	185,861
純資産合計	2,263,551

●連結貸借対照表

(単位:千円)

科目	第14期	第15期
	2005年6月30日現在	2006年6月30日現在
資産の部		
流動資産	1,579,718	2,652,274
固定資産	327,755	1,405,601
有形固定資産	62,712	296,066
無形固定資産	110,626	769,703
投資その他の資産	154,416	339,831
資産合計	1,907,473	4,057,875

(注)

1. 連結財務諸表中の記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。
2. 要約連結株主資本等変動計算書は、第15期分のみ記載しております。

(単位:千円)

科目	第14期	第15期
	2005年6月30日現在	2006年6月30日現在
負債の部		
流動負債	538,209	1,062,688
固定負債	278,190	731,635
負債合計	816,399	1,794,323
少数株主持分	165,828	—
資本の部		
資本金	643,200	—
資本剰余金	435,477	—
利益剰余金	△153,363	—
その他有価証券評価差額金	△68	—
資本合計	925,245	—
負債、少数株主持分及び 資本合計	1,907,473	—
純資産の部		
株主資本		
資本金	—	693,250
資本剰余金	—	1,252,050
利益剰余金	—	131,307
自己株式	—	△1,038
株主資本合計	—	2,075,569
評価・換算差額等	—	1,520
新株予約権	—	600
少数株主持分	—	185,861
純資産合計	—	2,263,551
負債及び純資産合計	—	4,057,875

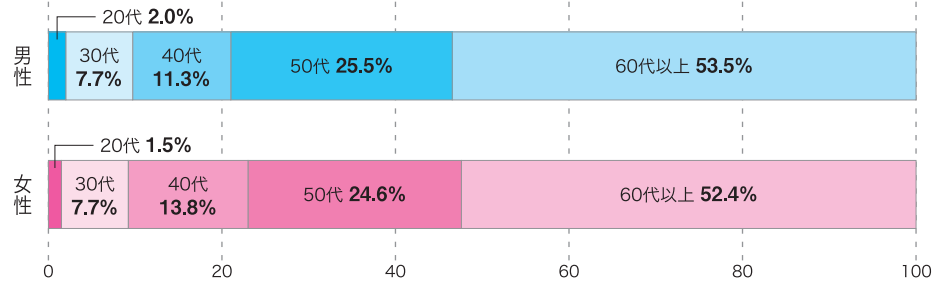
# アンケート結果報告

平成17年12月末日現在の株主のみなさま（4,837名）を対象に、「株主様アンケート」を実施いたしました（期間 平成18年3月15日から平成18年4月30日まで）。

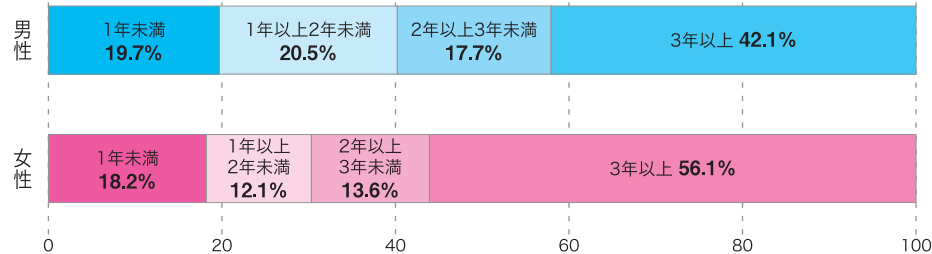
多くのみなさまにご協力賜り、厚く御礼申し上げます。

今回のアンケートの結果から、男性・女性別のご回答をまとめてみました。性別をご回答いただいた方のうち、79%（前回は76%）が男性で21%が女性（前回は24%）でした。

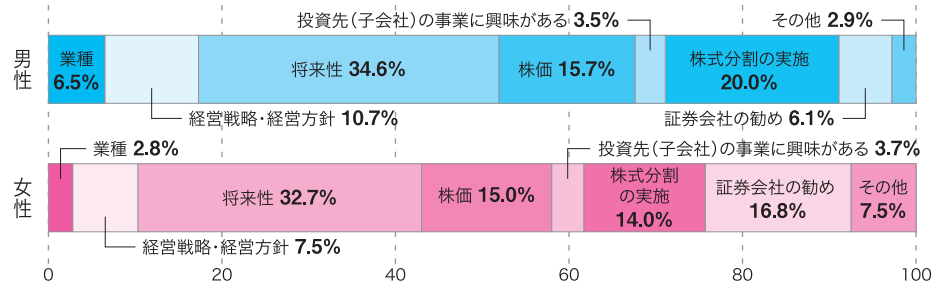
## ●年齢分布



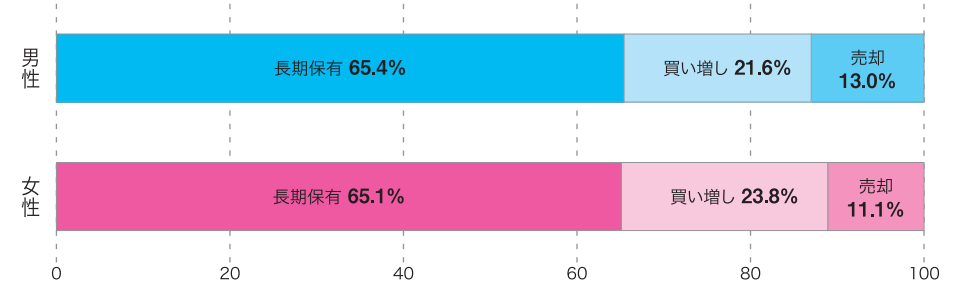
## ●株式の保有期間



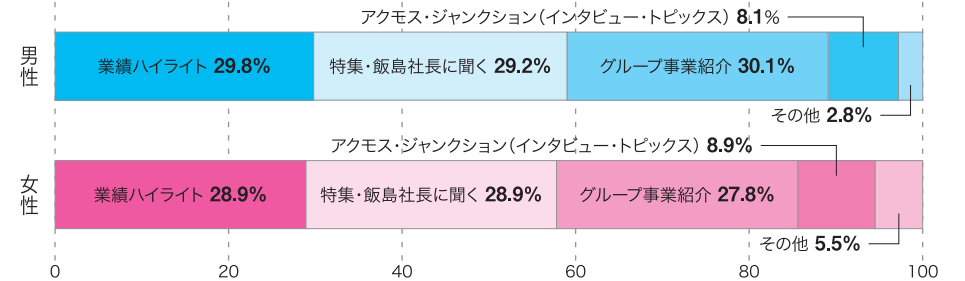
## ●株式を購入された理由



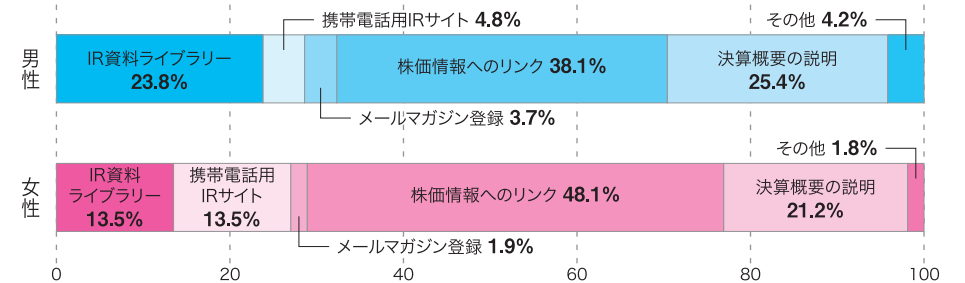
## ●今後の当社の株式の保有についての方針



## ●IRマガジン「アクモスハイウェイ」で興味をもたれた記事



## ●ホームページ上の内容・機能として新設をご希望されている内容・機能



この秋ホームページをリニューアルいたします。  
「株主様アンケート」での結果を参考に、今秋中の完成に向けてホームページのリニューアル作業を行っております。  
10月末には生まれ変わったホームページを公開いたします。

### 茨城ソフトウェア開発 いわき事業所を開設

情報技術事業の茨城ソフトウェア開発株式会社は、業務拡大に対応するため、福島県いわき市にいわき事業所を開設いたしました。  
今後ますます、地域に貢献できるよう社員一同気持ちを新たにサービス・技術の向上にまい進してまいります。



いわき事業所

### アクシスコンサルティング 紹介予定派遣事業を開始

人材事業のアクシスコンサルティング株式会社は、中国・大連及び上海の人材紹介会社2社と事業提携し、エリート中国人IT技術者の紹介予定派遣事業を開始いたしました。大学卒業以上の優秀な技術者を人材不足が深刻な日本国内IT企業へご紹介する事業です。



インターネットを利用して、中国の登録者と面接をしています。

### エクスカル ワイヤレスジャパン2006に展示ブースを出展

情報技術事業の株式会社エクスカルは、7月19日から21日までの3日間東京ビッグサイトにて開催された「ワイヤレスジャパン2006」に出展いたしました。  
「USB」や「DLNA」の規格認証サービスとともに、需要が拡大している「無線LAN検証」をはじめとする第三者検証サービスメニューを展示し、数多くのご来場を頂き新たな商談の機会を得ました。



エクスカルの展示ブース

### 会社概要 (平成18年6月30日現在)

商号 アクモス株式会社  
設立 平成3年8月23日  
資本金 6億9,325万円  
本店 東京都千代田区神田神保町三丁目23番地  
神保町錦明ビル  
監査法人 ビーエー東京監査法人

### 役員 (平成18年9月27日現在)

\*定時株主総会終了後

代表取締役社長 飯島 秀幸  
取締役 金子 登志雄  
取締役 宮本 治  
取締役(社外) 柴田 洋一  
取締役(社外) 島田 直樹  
監査役(常勤) 荻原 啓一  
監査役(非常勤) 星野 隆宏  
監査役(非常勤) 平野 喜久臣

### 株主メモ

事業年度 7月1日から翌年6月30日まで  
定時株主総会 毎年9月下旬  
公告方法 日本経済新聞(平成18年12月1日から原則として電子公告により行います。)  
(当社は、有価証券報告書提出会社であるため、会社法第440条第4項の規定により決算公告の掲載は中止いたしております)  
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
同連絡先 東京都江東区東砂七丁目10番11号(〒137-8081)  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-232-711(通話料無料)  
同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店  
野村證券株式会社 全国本支店

### 株式事務関係のお問い合わせは・・・

- 株式に関するお手続き 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部テレフォンセンター  
電話0120-232-711(通話料無料)  
受付時間 土日祝日を除く 9:00-17:00  
東京都江東区東砂七丁目10番11号(〒137-8081)
- お手続き用紙の請求 自動音声24時間受付 電話0120-244-479(通話料無料)  
または、  
三菱UFJ信託銀行 証券代行部 Webサイト  
<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>





## アクモス株式会社

東京都千代田区神田神保町三丁目23番地 神保町錦明ビル

TEL.03-3239-2377 FAX.03-5275-2890

URL:<http://www.acmos.co.jp/>